

都内の美術館で初となる「ミナ ペルホネン展」  
東京都現代美術館で11月16日に開幕！  
過去最大規模でミナ ペルホネンと皆川明の創作に迫る

TOPICS

- ・会場構成に田根剛、グラフィック・デザインに葛西薫が参加
- ・皆川明原案、建築家・中村好文設計による新たな「宿」のプロトタイプを展示
- ・現代美術家・藤井光がミナ ペルホネンの世界を撮り下ろした映像作品が誕生
- ・会期中、ゲストと皆川明によるクロストークを多数開催
- ・前売券は10/1に販売開始

東京都現代美術館にて11月16日（土）～2020年2月16日（日）開催

ミナ ペルホネン／皆川明 つづく

はじまり おわり すすみ もどる 心と象のつくるとつづく

beginning, ending, enhancing, returning, mind and shape, circle of creation goes on...

このたび、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館と朝日新聞社は、2019年11月16日（土）～2020年2月16日（日）に東京都現代美術館にて「ミナ ペルホネン／皆川明 つづく」を開催する運びとなりました。

デザイナーの皆川明（1967-）が設立したブランド、ミナ ペルホネン。流行に左右されず、長年着用できる普遍的な価値を持つ「特別な日常服」をコンセプトとし、日本各地の生地産地と深い関係性を紡ぎながら、オリジナルの生地からプロダクトを生み出す独自のものづくりを続けてきました。

皆川がミナ ペルホネンの前身となる「ミナ」を立ち上げたのは1995年。「せめて100年つづくブランドに」という思いでファッションからスタートした活動は、その後、インテリアや食器など次第に生活全般へと広がり、現在ではデザインの領域を超えてホスピタリティを基盤にした分野へと拡張しています。そのたゆまぬ歩みは、展覧会の会期中である2020年に25周年を迎えます。

本展覧会の「つづく」というタイトルは、文字通りブランドの時間的な継続性を示すものですが、それだけでなく、つながる・連なる・手を組む・循環するなど、モノや人が連鎖し何かを生み出していく生成のエネルギーを想起させる言葉でもあります。

多義的な意味をもつ「つづく」をキーワードに、本展覧会では、生地や衣服、インテリア、食器等のプロダクトに加えて、デザインの原画、映像、印刷物、皆川明の挿絵など創作の背景を浮き彫りにする作品群や資料も併せて展示いたします。

ミナ ペルホネンと皆川明のものづくりとその思考をこれまでにない規模で紹介する本展覧会は、私たちの日常生活やその先にある社会の仕組みについて新たな視点と示唆をもたらすことでしょう。

ミナ ペルホネン／皆川明 つづく  
minä perhonen / minagawa akira TSUZUKU  
16th November, 2019 ... 16th February, 2020



展示構成：田根剛（Atelier Tsuyoshi Tane Architects）  
展示構成補助：阿部真理子(aabbé)  
グラフィック・デザイン：葛西薫(sun-ad)

## ★前売券 10月1日より販売開始★

一般 1300円

大学生・専門学校生・65歳以上 800円

※前売券は10月1日（火）から11月15日（金）までセブンチケット、ローソンチケット、チケットぴあ、ミナペルホネン直営店などで販売します（東京都現代美術館は10月20日（日）まで販売）。

## ★SPECIAL TICKET★

皆川明が朝日新聞のコラム「日曜に想う」のために描いたイラストのポストカード（非売品）3枚がセットになった前売券です。

ポストカードセット前売券 一般 1800円

※ポストカードセット前売券はセブンチケット、チケットぴあで販売（数量限定）。



“pur”2018-19→AW photo: Mitsuo Okamoto

## ★CROSS TALK 開催★

皆川明が各界で活躍するクリエイターやアーティストとトークをします（要申込）

○2019年11月17日（日）

14:00 - 15:30 田根剛 建築家

○2019年11月30日（土）

13:00 - 14:00 木田隆子 エル・デコ ブランドディレクター

15:30 - 16:30 大竹伸朗 現代美術家

○2020年1月4日（土）

13:00 - 14:00 藤田貴大 マームとジプシー主宰、演劇作家

15:30 - 16:30 在本彌生 写真家

○2020年1月18日（土）

13:00 - 14:00 糸井重里 「ほぼ日刊イトイ新聞」主宰

○2020年2月1日（土）

13:00 - 14:00 菊地敦己 グラフィックデザイナー

15:30 - 17:00 葛西薫 アートディレクター

上田義彦 写真家

○2020年2月11日（火・祝）

13:00 - 14:00 皆川明 \* 単独講演

15:30 - 17:00 中原慎一郎 ランドスケーププロダクツ代表

岡本仁 編集者



「高揚」朝日新聞・日曜に想う 2016年8月28日掲載 挿画



“tambourine”2005-06→AW

場所：東京都現代美術館 講堂 / 定員：各回 200名（抽選方式）

申込：展覧会特設サイトの応募フォームから事前申込（いずれも応募期間あり） / 参加費：無料

※ただし、参加には展覧会チケットが必要です（当日に使用したチケットである必要はありません）

※上記以外にも会期中に複数のイベントを開催いたします。詳しい情報、予約方法などは詳細が確定次第、展覧会特設サイト（[mina-tsuzuku.jp](http://mina-tsuzuku.jp)）にてお知らせいたします。

## 「ミナ ペルホネン／皆川明 つづく」 開催概要

会期：2019年11月16日（土）－2020年2月16日（日）

会場：東京都現代美術館 企画展示室 3F（東京都江東区三好 4-1-1）

休館日：月曜日（2020年1月13日は開館）、2019年12月28日－2020年1月1日、1月14日

開館時間：10:00－18:00（展示室入場は閉館の30分前まで）

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、朝日新聞社

お問合せ：03-5777-8600（ハローダイヤル/8:00-22:00 年中無休）

### ●TICKETS

一般	当日券 1500円	／	前売券 1300円
大学生・専門学校生・65歳以上	当日券 1000円	／	前売券 800円
中高生	当日券 600円		

※小学生以下無料

※前売券は10月1日（火）から11月15日（金）までセブンチケット、ローソンチケット、チケットぴあ、ミナ ペルホネン直営店などで販売。東京都現代美術館は10月20日（日）まで販売。

※小学生以下のお客様は保護者の同伴が必要です。

※本展チケットでMOTコレクションもご覧いただけます。

※毎月第3水曜日（シルバーデー）は、65歳以上の方は年齢を証明できるものを提示していただくと無料になります。

※家族ふれあいの日（毎月第3土曜日と翌日曜日）は、18歳未満のお子様をお連れの都内在住の保護者2名まで、観覧料が半額になります。（保護者の方は都内在住を証明できるものを提示）

※身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添いの方（2名まで）は無料です。

※20名様以上の団体購入は当日券料金から2割引（東京都現代美術館で購入の場合のみ）

●展覧会特設サイト <https://mina-tsuzuku.jp/>

文化でつながる。未来とつながる。

**TokyoTokyo**  
FESTIVAL

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団では、Tokyo Tokyo FESTIVAL の一環として本展を実施します。

### 本件についてのお問合せ先

「ミナ ペルホネン／皆川明 つづく」展広報事務局（株式会社 OHANA 内） 担当：妹尾・細川・高橋

E-mail : mina-tsuzuku@ohanapr.co.jp

TEL:03-6869-7881 FAX:03-6869-7801 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-5-6 りそな九段ビル 5F